



町長賞



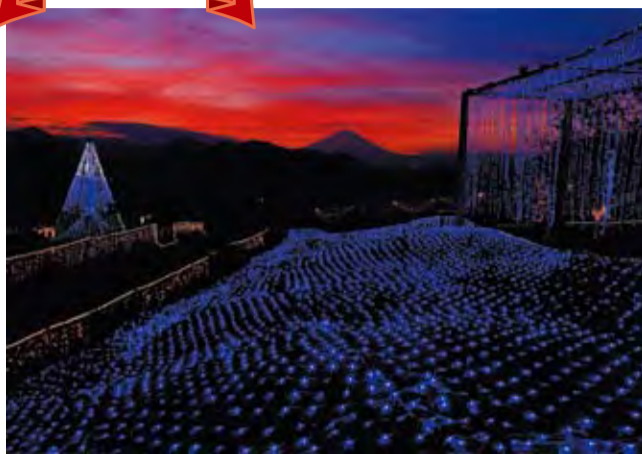
「大空え」 松田町 小櫃 康則

【評】雄大な景色が眼下に展開する、松田山から飛び立つハング・グライダーの瞬間を巧みに撮った写真。まずはこの場所でのベストアングルが素晴らしい、またカメラワークもシャッターチャンスも的確で、背景の富士や酒匂川の景色が表現された優れた作品。

松田町

フォトコンテスト

推薦



「黄昏のイルミネーション」 小田原市 小澤 繁治

【評】今回も松田山のイルミネーションを題材に多くの作品が出品されました。その中でも冬の富士と夕焼けは、希少なチャンスを生かして撮影し、前景のイルミネーションの色調が押さえ気味なのが全体のバランスを良くし変化をつけたもので、テクニック的にも写真の前面に青のダイオードの光を巧みに配し夕焼けの富士を引き立たせている秀作。

教育長賞

「真夏の祭典」

海老名市 清水 進

【評】今回の花火の写真は例年になく秀作が多く、撮影の技術の向上も目立ちました。選ばれたこの写真は、なんと言っても夏の花火大会の会場の雰囲気伝わってくる作品です。前景の会場と花火は何となく見ると分かりませんが、撮影してみると明るさのバランスを合わせるのが難しいもので、撮影者は的確なカメラワークでクリアされています。的確な処理と構成が特に優れた作品。



総評

27年度フォトコンテストの応募作品は159点でした。今年度は桜まつりをテーマにした作品が目立ちました。また夏まつりの花火をテーマにした作品は秀作揃いなのが印象的でした。選考にあたって、特に注意をした点はデータの過度な改ざんや合成写真でしたが、今回の作品の中には過度な改ざんはありませんでした。しかし、同一アングルの写真でこうも色調が違うものかと思う写真が数点見られました。一度設定したホワイトバランスや色温度は設定が狂う場合もあり、ぜひ撮影の時点で確認をしたいものです。また、入選された作品の中でも連写された写真の場合は自分が選考するにあたって、前後の写真を確認すればもう少し上位入賞された惜しい作品も見受けられました。

応募作品の中にも色調やトリミングを工夫すれば入賞なのと思う作品が多くありました。ジュニア作品と共に多くの傑作写真を次回も期待したいものです。

(公益社団法人) 日本写真家協会会員 西岡 修

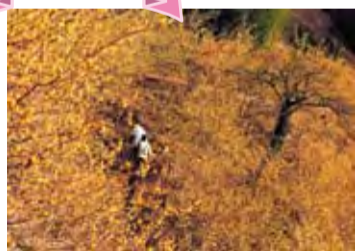
夜桜賞



「宵の競演」

さいたま市 早野 由香

春ロウバイ賞



「早春の花園」

秦野市 山口 善之

霧の最明寺賞



「静寂」

座間市 堀米 和夫

寄コイノボリ賞



「五月晴れ」

山北町 鈴木 要

ふるさと鉄道賞



「秋を行く」

南足柄市 佐野 輝夫

夏祭り賞



「祭は最高潮」

秦野市 青木 房雄

※松田町フォトコンテストの結果は町HPにも掲載しています

副町長に就任

田代 浩一氏
(元参事兼まちづくり課長)

4月1日より、副町長に就任いたします。田代浩一です。町職員での在職中は、関係者の皆様をはじめ、町民の皆様にお世話になりました。ありがとうございます。

これからも、町長の掲げる「安心・安全・住みやすい町」「子育て支援」「行財政改革」の3つの柱を基本とした、まちづくりを職員と共に、誠心誠意努力して参る所存です。

つきましては、町民の皆様をはじめ関係者各位におかれましては、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【略歴】昭和32年生(58歳)。同53(1978)年松田町採用。建設課長、まちづくり課長を歴任。